

「第10波とっていい」専門家が警戒 新型コロナ感染者数高止まり 今後さらに拡大も 北海道

2/27STV ニュース



<https://news.yahoo.co.jp/articles/d43499ed2120408683dd74e4e180ddb39a9753fc>

新型コロナウイルスの感染者数が高止まりしています。

年度末が近づき、人の動きが活発化することが予想され、専門家は今後さらなる拡大もありうると警戒しています。

(栄町ファミリークリニック 中川貴史院長)「のどの赤みちょっとだけです。ひどくはないんだけど、多少あるかなって感じです」

札幌市内のクリニックです。

こちらに連日訪れているのが、発熱やのどの痛みを訴える患者だといいます。

(栄町ファミリークリニック 中川貴史院長)「新型コロナウイルス感染症であったり、最近だと発熱の患者さんが非常に増えていますね」

去年5月に法律上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられた新型コロナウイルス。

今月大盛況のうちに幕を閉じた「さっぽろ雪祭り」も4年ぶりの通常開催となり、コロナ禍前と同水準の238万9千人が訪れるなど観光客が戻ってきました。

人の動きが活発化する一方で注意が必要なのが、新型コロナウイルスへの感染です。

(栄町ファミリークリニック 中川貴史院長)「まずはのどが痛くなる方が多いかもしれません。あとは咳であったり鼻であったりですね。(新型コロナの感染が)下火になったという感覚ないですよ。だんだんと感染が続いていて」

専門家は今後さらなる拡大もありうると警戒します。

(札幌医科大学 横田伸一教授)「12月頃からさらに(感染者数が)上がってきている状況があつて、第10波とっていいと思うんですけど、これが今ピークを迎えているところかどうかを注視しています」

道が毎週公開している1医療機関あたりの新型コロナ感染者数では、ここ2週間は減少傾

向ですがー

(札幌医科大学 横田伸一教授)「ここ数週間落ち着いているように見えていますが、一方で札幌市が下水中のウイルス量を測るいわゆる下水サーベイランスを行っているのですが、ここ3週くらい急増しているという事実があるんです」

感染状況の客観的指標となる下水中のウイルス量を見てみると、最新の数値は先月末の時点より4倍以上に増加していて油断のできない状況です。

人の往来の増加が見込まれる年度末を前に、引き続きうがい・手洗いといった基本的な感染対策が大切になっています。

